

## 風の会7月 養老溪谷～粟又の滝 報告書

風の会は毎月山行計画が組まれます。

7月は梅雨の真最中、暑くもあり、この時期の山登りは体調維持に難しいのです。雨の為中止になるケースもあるので、今回は千葉・養老溪谷を計画してみました。

お誘いの言葉は「小湊鉄道のんびりゆる鉄の旅とハイキング粟又の滝で、マイナス・イオンを浴びよう」ですが、ええ～ 風の会は山の会でしょう。こんな企画、今まであったかな～ さあ～て朝、千葉の内房線五井駅には、この計画に賛同された方が10名も集まっていました。

小湊線の車窓からの風景は、緑一色の田園風景、クーラーも動かず、窓を開け、一部女性は後ろ向きに座り(子供ではありません。立派なご婦人方です)、とことこはしる車両の窓から、顔をのぞかせ、移りゆく風景を風に当たりながら楽しんでいました。虫の声も聞こえます。私達が昔の記憶にある風景です。小一時間で養老溪谷駅に到着ですが、降りるとやはり30度以上の暑さ。地元の人がお暑いのに御苦労様です。自分は仕事ですから、と声をかけられます。いやいや私たち山の会は歩く事が生きがいなのです。ですが一般道も木陰に入ると風もあり、とても涼しいのです。日頃のクーラーの寒さと違い、肌に心地よい涼しさで、何か昔の感覚を体が思い出します。

観音橋を渡り、山道を登り、トンネルを通過して金色に輝く出世観音(立国寺)へ着きます。もう出世とは縁遠いや、とつぶやきながら、いやいや、まだまだと、しっかりおまいりします。

やがて養老川の中瀬遊歩道を、飛び石を渡りながら進みます。切り立った弘文洞跡(この隧道を切り開いた昔の人はすごい)で昼食です。我々の会は特に気配りのよい女性が多いせいか、いろいろな差し入れがまわってきます。ありがたい事です。

再び清流を渡りながら、車道に出ます。30分も歩いたでしょうか、暑さと、トイレ休憩もかね観光センターで小休止です。その時、前会長さんからスイカの差し入れがありました。いや当会の男性も非常に気配りがよいのです。元気がでます。

やがて水月寺脇から養老溪谷の核心部、滝めぐり遊歩道を養老川沿いに歩きます。水遊びの家族や若い男女も多くなりました。小一時間も歩いたでしょうか、本日より一番のハイライト部分、粟又の滝(全長100m、落差30mの名瀑)へと出ます。皆ここで滝の冷気に当たり、精気がわいてきたのでした。小休止の後、「ごりやくの湯」へと向かいます。しかしバスの時間の関係から残念ですが湯は省略しそのままバスで養老溪谷駅へでます。そして又小湊鉄道で五井駅へと向かいました。

本日は全員子供になって(いや子供の頃を思い出して)、都会の日常から離れた、のんびりした、遠い昔の雰囲気にとひたつた一日でした。

いつもの会での山歩きとは違った、この暑い時期のハイキングに さあ～て参加皆さんの感想はいかに？

